

令和 2 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画とりまとめ課	建設緑政局緑政部みどりの保全整備課	要素事業所管課	建設緑政局緑政部みどりの保全整備課 建設緑政局等々力緑地再編整備室
----------	-------------------	---------	--------------------------------------

1 計画の概要

計画の名称	頼りになる安全・安心なみどりのまちづくり（防災・安全）	計画の期間	平成 27 年度～令和 2 年度
計画の目標	<p>本市の地域防災計画において広域避難場所に指定される公園緑地の整備・拡充により、災害時の避難場所、市街地の延焼防止、救援活動及び物資集積等の拠点となるオープンスペースを確保するとともに、防災・減災に寄与する施設整備を行い、防災機能の向上を図る。</p> <p>また、老朽化した公園施設の計画的な更新・改築や園路及び広場、便所のバリアフリー化を行い、誰もが安全・安心で快適に利用できる公園緑地の整備を推進する。</p>		
計画の成果目標（定量的指標）	<p>① 等々力緑地における災害時の応援部隊の活動拠点面積 8.1ha（平成 26 年度末） → 10.7ha（令和 2 年度末）</p> <p>② 富士見公園における避難場所となる広場等の面積 11.6ha（平成 26 年度末） → 12.5ha（令和 2 年度末）</p> <p>③ 市内都市公園における徒歩帰宅者支援場所の整備箇所数 0 箇所（平成 26 年度末） → 7 箇所（令和 2 年度末）</p> <p>④ 川崎市公園施設長寿命化計画に基づき更新または改築を行った施設の割合 0%（平成 26 年度末） → 34.0%（令和 2 年度末）</p> <p>⑤ 市内都市公園におけるバリアフリー化された公園の割合 26.8%（平成 26 年度末） → 28.3%（令和 2 年度末）</p>		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	<p>・計画期間が、5 か年から 6 か年に変更となった経緯 ⇒等々力硬式野球場改築工事において、工事着手後に想定外の廃棄物混じり土や軟弱地盤、杭支持層の深さや使用されていない水路が判明し、対策工事が必要となったため、工期を令和 2 年度まで延長したことによる計画変更</p> <p>・等々力緑地（上記①に該当）の「緊急点検」の経緯と概要 ⇒平成 30 年北海道胆振東部地震の状況等を受け、等々力緑地のさらなる防災機能の向上を図るため、災害時に消防機関の活動拠点となる等々力硬式野球場の施設整備を実施</p>		

2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況（概要）

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	都市公園事業、 都市公園安全・安心事業	12,671,000	7,533,023	7,533,023	100.0	R2 末 完了見込み
B (関連社会 資本整備事 業)	-	-	-	-	-	-
C (効果促進 事業)	-	-	-	-	-	-
全体事業費 (A+B+C)		12,671,000	7,533,023	7,533,023	100.0	
				【財源内訳】 国: 2,605,779 市: 4,927,244		

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	① 等々力緑地における災害時の応援部隊の活動拠点面積 ② 富士見公園における避難場所となる広場等の面積 ③ 市内都市公園における徒歩帰宅者支援場所の整備箇所数 ④ 川崎市公園施設長寿命化計画に基づき更新または改築を行った施設の割合 ⑤ 市内都市公園におけるバリアフリー化された公園の割合			
定義及び算定式	① 等々力緑地における災害時の活動拠点面積 ② 富士見公園における避難場所となる広場等の面積 ③ 徒歩帰宅者支援場所の整備箇所数 ④ 更新または改築を行った施設の数 / 川崎市公園施設長寿命化計画に定められた更新または改築が必要な施設の数 ⑤ バリアフリー化された都市公園の数 / 都市公園数			
その指標を設定した理由	① 等々力緑地の防災機能の向上について、消防機関の活動拠点面積の拡大により評価するため ② 富士見公園の防災機能の向上について、避難場所となる面積の拡大により評価するため ③ 災害時において、徒歩帰宅者の避難場所として整備された都市公園の数により評価するため ④ 子供の安心・安全な公園利用に必要な施設すべてを、更新または改築する必要があるため ⑤ 多様な利用者に対応するため、バリアフリー化した都市公園の数により評価するため			
当初現況値 (H26)	中間目標値	最終目標値 (R2)	実績値	目標達成状況
① 8.1 ha ② 11.6 ha ③ 0 箇所 ④ 0 % ⑤ 26.8 %	-	① 10.7 ha ② 12.5 ha ③ 7 箇所 ④ 34.0 % ⑤ 28.3 %	① 10.7 ha ② 13.1 ha ③ 7 箇所 ④ 34.0 % ⑤ 29.5 %	達成 達成 達成 (見込) 達成 (見込) 達成
目標達成状況に対する所見	① 災害時に消防機関の活動拠点となる施設整備を行ったことにより、目標を達成した。 ② 富士見公園内において、避難場所となる広場等の整備等を行ったことにより、目標を達成した。 ③ 各都市公園において、支援場所等の整備を行ったことにより、目標を達成する見込み。 ④ 更新または改築を行った施設の割合が34.0%となるため目標を達成する見込み。 ⑤ 各都市公園において、バリアフリー化等の整備を行ったことにより、目標を達成した。			
将来の見込み	① 今後も継続して事業に取り組むことにより、等々力緑地のさらなる防災機能の向上が図られる見込み。 ② 今後も継続して事業に取り組むことにより、避難場所などの防災機能の向上が図られる見込み。 ③ 計画していた都市公園において整備が完了したため、今後は状況等を鑑み対応していく見込み。 ④ 今後も継続して事業に取り組むことにより、更新または改築を行った施設を増やしていく。 ⑤ 計画していた都市公園において整備が完了したため、今後は状況等を鑑み対応していく見込み。			

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

<p>評価指標の名称、内容</p>	<p>印象評価（アンケート） I. 遊具更新を行った公園に対する印象評価（上記④に該当） II. バリアフリー化を行った公園に対する印象評価（上記⑤に該当）</p>
<p>定義及び算定式</p>	<p>印象評価（アンケート）</p> <p>I. -1 事業実施後の遊具が利用しやすくなった、または利用しやすくなると感じるかについて、「とても感じる」または「感じる」と回答した方の割合（％）</p> <p>-2 事業実施後に公園緑地の利用回数が、「とても増えた（とても増えると思う）」または「増えた（増えると思う）」と回答した方の割合（％）</p> <p>II. -1 事業実施後の施設が利用しやすくなった、または利用しやすくなると感じるかについて「とても感じる」または「感じる」と回答した方の割合（％）</p> <p>-2 事業実施後に公園緑地の利用回数が、「とても増えた（とても増えると思う）」または「増えた（増えると思う）」と回答した方の割合（％）</p>
<p>指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性</p>	<p>印象評価（アンケート）</p> <p>I. 都市公園等安心・安全事業による遊具の更新工事について、市民等の印象により整備の効果を評価するため。</p> <p>II. 都市公園等安心・安全事業によるバリアフリー化の工事について、市民等の印象により整備の効果を評価するため。</p> <p>・評価指標は量的な評価となっているため、市民等が当該事業の効果を実感しているかを確認するため、印象評価（アンケート）を行った。</p>
<p>評価指標の実績値を含む効果の発現状況</p>	<p>印象評価（アンケート）</p> <p>I. -1 遊具を利用しやすいと感じるか等を伺って、「とても感じる」または「感じる」と回答した方の割合は 72.0％で、事業による利用環境向上の効果があつた。</p> <p>-2 公園緑地の利用回数が、「とても増えた（とても増えると思う）」または「増えた（増えると思う）」と回答した方の割合は 74.3％で、事業の効果として利用頻度が増加する傾向が見られた。</p> <p>II. -1 施設を利用しやすいと感じるか等を伺って、「とても感じる」または「感じる」と回答した方の割合は 65.9％で、事業による利用環境向上の効果があつた。</p> <p>-2 公園緑地の利用回数が、「とても増えた（とても増えると思う）」または「増えた（増えると思う）」と回答した方の割合は 63.1％で、事業の効果として利用頻度が増加する傾向が見られた。</p>

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

<p>意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間</p>	<p>・意見募集</p> <p>内 容：市内公園緑地（等々力緑地、富士見公園、および3公園）にて行った市民等へのアンケート</p> <p>手 法：箱設置、対面式 事業実績等を提示した調査用紙に意見を記入（選択式）</p> <p>実施期間：令和2年8月18日～31日</p> <p>回 答 数：214部（箱設置13、対面式201）</p> <p>設 問：公園が整備されて、防災機能の充実が図られたと思いますか。</p> <p>選 択 肢：「とても図られたと思う」、「どちらかと言えば図られたと思う」、「どちらとも言えない」、「そう思わない」、「全くそう思わない」</p>
------------------------------	--

意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の取組について、防災機能の充実が図られた（「とても図られたと思う」又は「どちらかと言えば図られたと思う」と回答した割合が80.3%であった。 ・約8割の方が、充実が図られたと感じており、事業の効果が確認できた。
----------------------------	---

6 今後の方針等

総合的な所見	<ul style="list-style-type: none"> ・①から⑤の評価指標として設定した、面積及び箇所数、割合については、計画の変更などを通じて一部の事業内容に変更等があったものの、計画期間において事業を実施したことによりそれぞれ目標を達成することができた（見込含む）。 ・④の遊具等更新、及び⑤のバリアフリー化については、利用者の印象調査において、一定の評価が得られたことから、事業の効果が確認できた。 ・印象調査と同時に実施したアンケートについては、公園整備による防災機能の充実について一定の評価が得られたことから、事業の効果が確認できた。
<p>今後の方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 5px;"> 次期計画 (あり)・なし </div>	<ol style="list-style-type: none"> ① 等々力緑地のさらなる防災機能の向上のため、継続して事業を実施する必要があることから、次期計画に位置付け引き続き整備等に取り組む。 ② 富士見公園において避難場所等の整備を継続して実施する必要があることから、次期計画に位置付け引き続き整備等に取り組む。 ③ 今期計画において実施を予定していた都市公園において整備が完了したため、今後については状況等を鑑み対応していく見込み。 ④ 川崎市公園施設長寿命化計画に定められた更新または改築が必要な施設について、継続して事業を実施する必要があることから、次期計画に位置付け引き続き更新または改築に取り組む。 ⑤ 今期計画において実施を予定していた都市公園において整備が完了したため、今後については状況等を鑑み対応していく見込み。